

『向島の豊かな自然と生きもの』

第46回 2020年もやはり昆虫採集

新型コロナが世界中に広がり、すでに逃げ場がない。しかし人類は強く、このむずかしくてやっかいな病原菌に立ち向かい闘っている医療スタッフや関係者、そのすべての人々や研究に感謝し応援します。一日も早く解決策が見つかってほしいと願います。

さて、生き物たちの世界はどーなんだろうか？

昆虫は人類とは似ても似つかぬ姿かたち。生き抜くための仕組みもぜんぜん違うので「コロナウィルス」が好む生き物ではないよだと信じて、2020年もいつも通り正月から野外観察を行いました。(昆虫も一部の病原菌を宿します)

今年の「レア虫(レア=珍しい!?)」は「ヒメミズカマキリ」で、出会いは5月のゴールデンウィークが終わり川遊びの下見に出かけた時だった。

走る車の中から「水生植物があり、近くに田んぼや雑木林があり、小川が流れるため池」に目がとまり、ガサガサゴソゴソと網を入れてみると、最初の一回目でミズムシやヒルや小型のゲンゴロウと一緒に一匹のヒメミズカマキリ！発見！

初めて見たので、あれ?!ミズカマキリの幼生?!と思ったが、よく観察するとヒメミズカマキリだ!!と確信！図鑑でしか知らなかった虫だし、虫の中でも水棲の昆虫は特別好きなグループだから「やったあー！」

初ゲットの虫は、嬉しいだけじゃなくて虫好きの子ども達に見てもらおう楽しみもあり、2重3重に嬉しい。

初夏から初秋まで数回にわたって向島の高見山での灯火採集も例年通り行い、毎年同じような顔ぶれの虫たちが集まってきてくれて安心しました。

灯火採集でも初ゲット虫(オオモモトシテムシ)があり、向島洋らんセンターの芝生広場の片隅で命をつなぐ狩バチの仲間「ベッコウバチ」のオス(オスはなかなか見つからん)も初ゲットすることが出来ました。

2020年もいつもの場所で出会える虫に変わらず逢えた喜びと、いつもの場所でも季節を変えて訪れてみると新しい発見があり、やはり昆虫採集は楽しい!!

～ 花と鳥と昆虫と海辺に遊ぶ ～